



## 第10回 入澤彩記念女性生理学者奨励賞（入澤彩賞）を受賞して

香川大学医学部自律機能生理学

倉原 琳

（第10回 入澤彩記念女性生理学者奨励賞  
（入澤彩賞））



この度は入澤彩記念女性生理学者奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。今回の受賞は私にとって身に余る栄誉であり、生理学会に入会してから19年間を振り返る良い機会となりました。

2019年4月に香川大学へ異動しましたが、18年間育ててくれた福岡大学生理学研究室、恩師今永一成先生、井上隆司先生へ御礼申し上げます。2001年ごろから、今永先生と一緒にラットやモルモットの心臓のランゲンドルフ実験およびギャップ結合の機能解析研究が私にとって、生理学研究の第一歩でした。井上隆司先生の元ではTRPチャンネルトリモデリング病変の病態生理を研究し、炎症性腸疾患や肺高血圧の病態生理について基礎から臨床まで幅広い手法で探求することができました。

また、福岡大学に在籍した最後の年、コネチカット大学 Lixia Yue 先生の研究室へ在外研究の機会を頂き、新たな研究手法にも出会えました。

2015年ごろ、どうしても肺高血圧症の研究がしたく、九州大学医学研究院分子細胞情報学部門の門を叩いたことが研究の道に変革をもたらしたように思います。現在香川大学では肺高血圧の病態生理を中心に平野先生から多くのことを学ばせて頂いています。研究の魅力について、平野教授はホームページに「世界中の誰も知らない神秘を自分だけが知っている実感する瞬間に大きな知的興奮が得られるのが研究の第一の魅力です。深い森を抜け、誰よりも先に頂に立って風景を眺めている様な、爽快な喜びが感じられます。」と大変感銘深い言葉を記しています。大家族を抱える女性研究者として周りに感謝し、誰よりも先に新しい風景を見て、喜びを感じ、社会に貢献できるように研究の道を進んで参りたいと思います。



写真 令和元年11月  
香川大学医学部自律機能生理学研究室  
共同研究者平石研究員が地方会奨励賞受賞

### 略歴

- 2019/4～ 香川大学医学部自律機能生理学 准教授
- 2018/2～2018/6 コネチカット大学客員研究員
- 2010/4～2019/3 福岡大学医学部 講師  
(熊本大学博士号取得)
- 2003/4～2010/3 福岡大学医学部 助手/助教
- 2001/4～2003/3 福岡大学医学部 副手
- 2001/3 熊本大学薬学部 卒業